

すそみの農と食の体験記



●秋の畑でお買い物もの



11月10日、筑波山麓に今なお残る豊かな自然のなかで農と食を体験するツアーが実施されました。畑を巡りながら旬の農産物を「お野菜チケット」と交換しました。晩秋のこの時期は大根や里芋、白菜などが収穫時期をむかえ、農家の方に収穫方法を教えてもらいます。スーパ―とはまた違ったお買い物体験に子どもたちは大喜びでした。お昼ごはんは、新米でついたお餅とけんちん汁。実りの秋を楽しみました。



お餅つきも楽しかった！

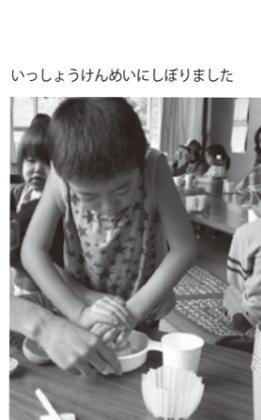
●ミカンのオーナー制 収穫体験

11月11日、夏にオーナーを募ったミカンのオーナー制。無事にたくさん実ったミカンを収穫しました。なかには収穫までの間に何度も足を運び、自分のミカンの木の手入れをする熱心なオーナーも。とれたてのミカンジュースにする交流会も合わせて開催。たくさんのご参加ありがとうございました。

安藤慧(里山建築研究所)



甘いミカンがとれるかな？



いっしょうけんめいにしほりました

●「蚕を育ててみよう！」に始まり、「秋の蚕影神社ツアー」、「まわたぼかぼか(第20回カスミグループわたしの企画応援します！)」と3回のイベントを開催。10月23日の蚕影神社秋の例大祭では、40数年ぶりにみんなで育てた繭を奉納しました！カイコのかんさつにつき

く糸になってびっくり！(七月のつきより)カイコのおはなしにいきました。おもしろかったよ。クワのはをあげたよ。もぐもぐばくばくたべてたよ。大きくなつたよ。／びっくりしたよ。まゆになつたよ。／今日、カイコガを見ました。ちいさいよ。かわいかったよ。(12月2日)今日、まわたから、糸を作りました。「まわた」は白色で、ふつうのわたよりポワポワでした。「まわた」のかたまりをゆびでやさしくひっぱって、たいらなところどころころします。糸になります。ふとくなったりほそくなったりします。糸を作るのって、たのしいけど、めんどろ！「まわた」はカイコが作ったなんて思わなかった。くさで、できるとおもったよ。ありがとう、カイコさん。(絵と文・田井小一年横井野恵美)



●筑波山大御堂

世界平和と震災復興を祈念して皆様も鐘をついてください。
12月31日(月) 20時から除夜の鐘
1月1日(祝) 0時から晨朝護摩
1月18日(金) 初観音・ご縁日。ご来寺になつて世界平和を祈念しましょう。

●筑波山神社

1月1日(祝) 5日(土) 初参りの皆様に甘酒のサービスがあります。その日の予定数がなくなり次第終了します。

●飯名神社例祭

2月20日(水) 皆様のご多幸を願い福来餅を5回撒きます。(10・11・12・13・14時)

インフォメーション

●筑波山麓・霞ヶ浦水源の森づくり
①1月12日(土) ②2月2日(土) 雑木林の篠刈り・間伐・薪づくり ③3月9日(土) 植樹祭/つくば市神郡「すそみの森」/10~15時/参加費①②700円(温かい汁物・茶菓付) ③900円(昼食付) ④のみつくば駅より送迎バスあり/親子・家族参加歓迎
「申・問」NPO法人つくば環境フォーラム 029-8663-1515

●ねんどで遊んじやおっ！野焼き
1月14日(祝) 田んぼで焼き物をします。焼き芋と風揚げもやるよ！ 見学自由 10~15時/場所・細草の田んぼ/参加費1000円、子ども500円(昼食あり) 「申・問」NPO法人自然生クラブ 029-8666-2192

筑波山麓秋祭りをふりかえって

●今年も神郡地区は大賑わい

11月10日、11日の2日間、神郡に多くの方に来て頂き、厚く御礼を申し上げます。イベントでは武井邸の囲炉裏で抹茶のサービスに450人以上の方々に参加。また石倉RIZでは「おにぎり」「石焼いも」、新メニューの「石焼じゃがバター」が人気を集めました。専門店のコーヒーも香り高く美味しいと評判に。野菜、果物、米、陶器、鉢物の花なども店頭並びました。また「お庭拝見」では、心静かにお庭を眺め、写真を撮る方も多かったです。神郡名物のあんドーナツの他、今年は「みそ饅頭」「草餅」が評判でした。そして10日の晩に行われた普門寺の「瓦灯りのプロムナード」は見事でした。各会場に北条復興の募金箱を設置。ご協力頂きました方々にも深く感謝申し上げます。

飯田一男(神郡区長)



たくさんの人で賑わった石倉 RIZ 前

●秋空に響く和太鼓演奏

11月10日(土)、六所児童館で和太鼓「土鼓み」の演奏がありました。当日は、晴天の暖かい日差しの中、12人のメンバーの大太鼓、小太鼓、特殊太鼓による熱のこもった迫力ある演奏に、喝采の拍手となりました。中の一曲に、勇壮な天地開闢の曲がありました。この曲は、一昨年の六所神社の秋祭り時に新しく興した曲です。一昨年は夜間の演奏でしたが、今年は昼間の演奏となり、趣を異にして多くの感動を与えたと思います。引き続き、ガマの口上があり、有意義な2時間であったのではないのでしょうか。 松崎治(六所区長)



「土鼓み」の迫力ある演奏

●すそみ茶屋の「筑波山麓青空セッション」

11月3日は気持ちの良い秋晴れでした。場所は臼井、辻・鮎川さんのお庭。すそみの茶屋の前での演奏会となりました。今回は5人のメンバーです。いつも一緒にやっているわけがありませんので、不安はたくさんです。条件としては電気が使えること。うるさくは出来ないということ



ほんわかと演奏を楽しむ筑波山麓青空セッションの面々

でこの按配が難しい。おまけに観客がいるかどうかもわからない。野外は音の増幅が必要になる。そこで、電池で使えるアンプ、車のバッテリーを

使つての改造ペーリアンプ、電池で使えるキーボードなどを用意します。今回は名づけて 筑波山麓青空セッション。青空のもとで、気持ちよく、ゆるく、セッションする。それは、頭に思い浮かんだものでした。さて、それはどうだったのか。出来はさておき、明るい日差しのもと、すそみの大地に、妙に暖かな音響が漂っていたようです。我々のあとに、Blue Canaryさんの素晴らしい演奏がありました。彼らにはちょっと緩すぎた環境だったようでしたが、こんな音楽会があってもいいのかなと思いました。

榎田智司(六所地区)

Blue Canary さんはやさしく温かな演奏でした

11月11日「神郡塾」講演会開催

「夢を見て 夢を追いかけ 夢を食う」

高校バレーボールの名監督、国分秀男氏の「美六山荘」での熱弁！が聴講生の心を打った。無名だった東北の古川商業高校バレーボール部に、全国優勝通算10回の輝かしい実績を達成させた裏には、表題の「夢」がある。強いチームを作るため、「人の話を聞く」「読書」「ニュース・新聞を見る」の3つの信条を実行している。これは、子どもを育てる親・教師、組織に携わる役職者に共通することでしょう。「小さなこと、些細なことを大切に、徹底させる」これも含蓄ある言葉でした。「神郡塾」の講演は塾生が主ですが、飛び入りの聴講も可能です。1月は「篆字講座」と「絵手紙講座」が予定されています。

[問] 森田源美 029-866-1122